2011年3月期　決算説明会

2011年5月25日

あすか製薬株式会社

3月11日に発生した東日本大震災により

被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

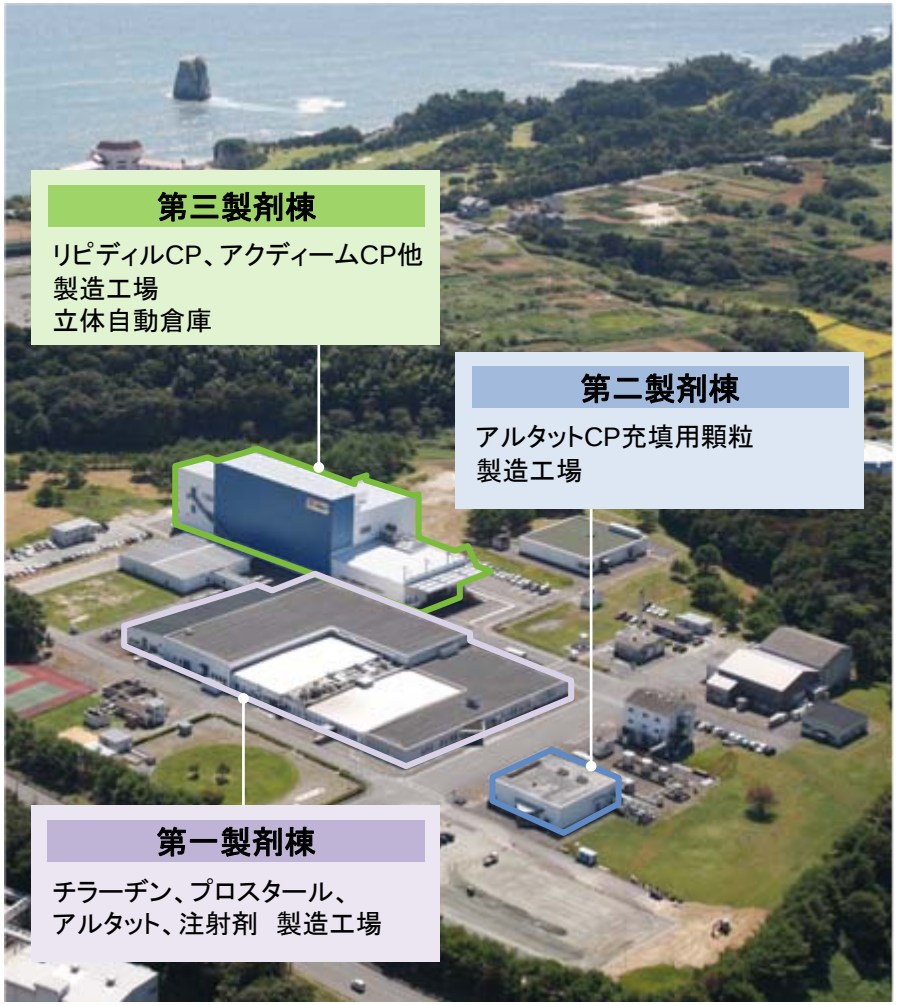
被災地の一日も早い復興を祈念いたします。

2011年3月期　総括

あすか製薬株式会社
代表取締役社長　山口 隆

東日本大震災の影響

東日本大震災の影響



いわき工場被害状況

第一製剤棟
第二製剤棟

- 軽微　⇒　3月より順次生産再開

第三製剤棟

- 製造設備、立体自動倉庫の一部に損傷
- 倉庫のコンピュータシステムに一部トラブル発生
  ⇒　6月稼動予定

- 津波による被害なし
- ライフライン寸断

復旧に向けた対応

- 3月11日　災害対策本部立ち上げ
- 生産設備、在庫状況の確認と復旧作業
  - 倉庫内在庫の搬出
  - 物流拠点を川崎事業所とした
- チラーヂンの安定供給を最優先に対応

6月末　震災前と同様の生産体制に完全復旧予定

東日本大震災の影響

チラーヂンS錠の供給対応

厚生労働省、関連学会・団体・企業との連携

- 自社製造ラインの復旧（4月）
- 製造委託による生産（国内・外）
- 海外製品の緊急輸入（4月）

→ **供給量確保**

安定供給にご協力いただいた学会：レボチロキシンナトリウム安定供給対策委員会（通称T4委員会）
日本内分泌学会、日本甲状腺学会、日本内分泌外科学会、日本甲状腺外科学会、日本小児内分泌学会

チラーヂンS錠について

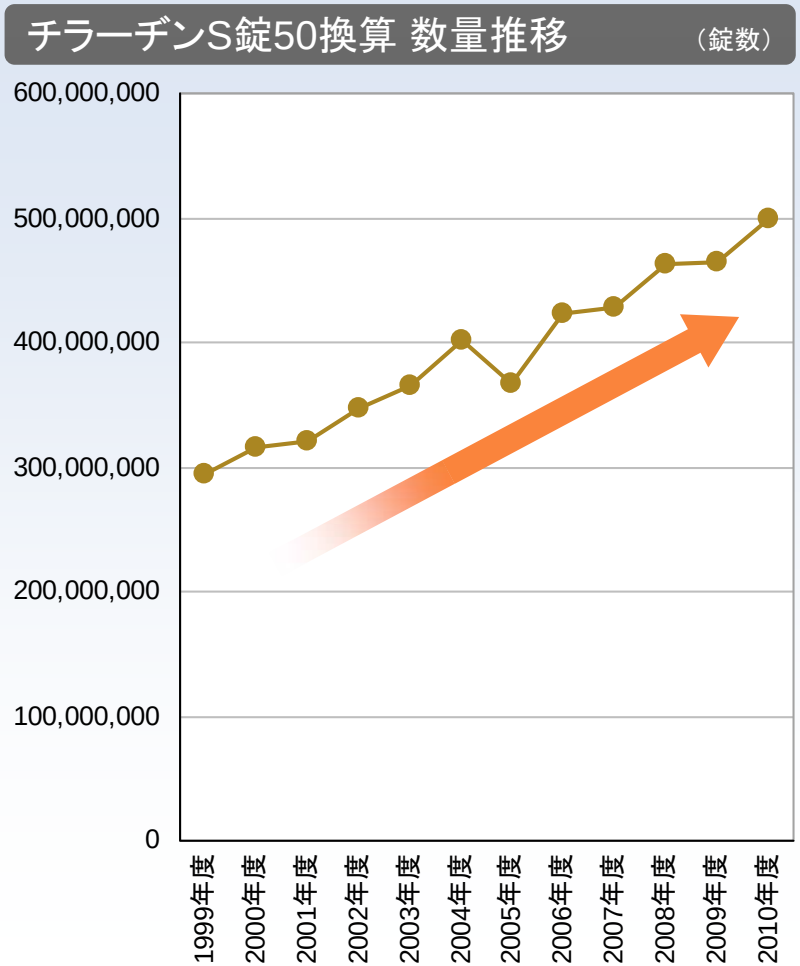
一般名	レボチロキシンナトリウム
規　格	チラーヂンS錠25 チラーヂンS錠50 チラーヂンS錠100
適応症	粘液水腫、クレチン病、甲状腺機能低下症（原発性及び下垂体性）甲状腺腫
甲状腺と 甲状腺疾患	● 甲状腺とは、頚部前面にあり、重さが16～20g程度の甲状腺ホルモンなどを分泌する内分泌器官である。蝶が羽を広げた様な形をして気道を囲むように存在している。 ● 甲状腺ホルモンは、全身に対し代謝率を向上させる作用があり、基礎代謝促進や呼吸量の増加等の作用がある。 ● この機能が低下する疾患が、甲状腺機能低下症で代表的なものは橋本病（慢性甲状腺炎）であり、全身倦怠感、発汗減少、体重増加、便秘などを生じる。 ● また、この機能が過剰に亢進する疾患が、バセドウ病であり、手足の振るえ、眼球突出、動悸、甲状腺腫脹、多汗、体重減少、高血糖、高血圧などをおこす。

チラーヂンS錠について

チラーヂンS錠の服用者数

近年、甲状腺疾患の
診断と治療が積極的に
行われるようになった

甲状腺機能低下症などの
治療機会が増えた



東日本大震災の影響

安定供給に向けた生産体制

課題の認識

リスク分散

生産拠点

- いわき工場
- 委託製造先の拡充

物流

- 一極集中の分散化
  - いわき工場
  - 川崎事業所
  - 外部倉庫（東日本・西日本）
- 在庫増

東日本大震災の影響

業績に与える影響

2011年3月期

特別損失 4,665百万円のうち震災による損失 2,621百万円

2012年3月期

被災のため、一時的に不安定な供給状態になったことにより、
上期売上高への影響が予想される。

■ ただし、今後様々な要因により、業績に与える影響が判明した場合、適宜公表

決算概況

2011年3月期連結決算の概況

（金額単位：百万円）	2010年3月期	2011年3月期	増減率
売上高	35,784	45,849	28.1%
営業利益	419	3,496	732.8%
経常利益	654	3,661	459.3%
特別損失	212	4,665	―
当期純利益	93	△790	―

〈総括〉

- 薬価引下げおよび主力製品の競争激化はあったが、ワイス㈱（現ファイザー㈱）からの承継品・販売権を取得した医薬品、新製品および後発医療用医薬品の上市、ライセンス契約締結時一時金等により、売上が増加した
- 利益面では、売上原価率の増加等の影響はあったが、売上高増加、研究開発費等の経費減少の結果、営業利益、経常利益とも増益となった
- 特別損失の計上により当期純損失となった

2011年3月期トピックス

「リファキシミン」ライセンス契約締結

「AKP-002」に関するライセンス契約締結

「アルタットカプセル」小児用法・用量の追加承認

「ノルレボ錠」製造販売承認

「リピディル錠」製造販売承認

「ミンクリア内用散布液0.8% 」発売

セオリアファーマ株式会社事業活動開始

中期経営計画「ASKA PLAN 2012」進捗

中期経営計画「ASKA PLAN 2012」進捗

ASKA PLAN 2012　基本方針

「収益の向上」を図り、
環境変化に強い企業体質を構築

- 売上・利益拡大
- ライセンス収入
- 販売管理費見直し

あすかの独自性を追求し、
競争力を強化

- 申請・承認・発売
- ライセンス契約

	2010年度計画	2012年度計画
売上高	445億円	480億円
営業利益	4億円	30億円

2010年度実績
458億円
34億円



中期経営計画「ASKA PLAN 2012」進捗

2011年度事業執行方針

基本方針

1	売上高は43,000百万円、営業利益は600百万円を目指します（親会社）
2	いわき工場を早期に復旧し、製品の安定供給体制を再構築します
3	新薬の早期育成を図ります
4	次期新製品の開発を促進させます
5	コスト効率向上への積極的・継続的な取り組みで「収益の向上」を追求し、 徹底した改革の実行により一層の筋肉質な構造に転換を進めます

回　復 → 伸　張 → 「ASKA PLAN 2012」達成

新発売品

緊急避妊剤「ノルレボ錠 0.75mg」
（レボノルゲストレル）

2011年5月24日発売

日本初の緊急避妊剤

望まない妊娠が危惧された場合、性交後72時間以内に1.5mg（2錠）を1回服用

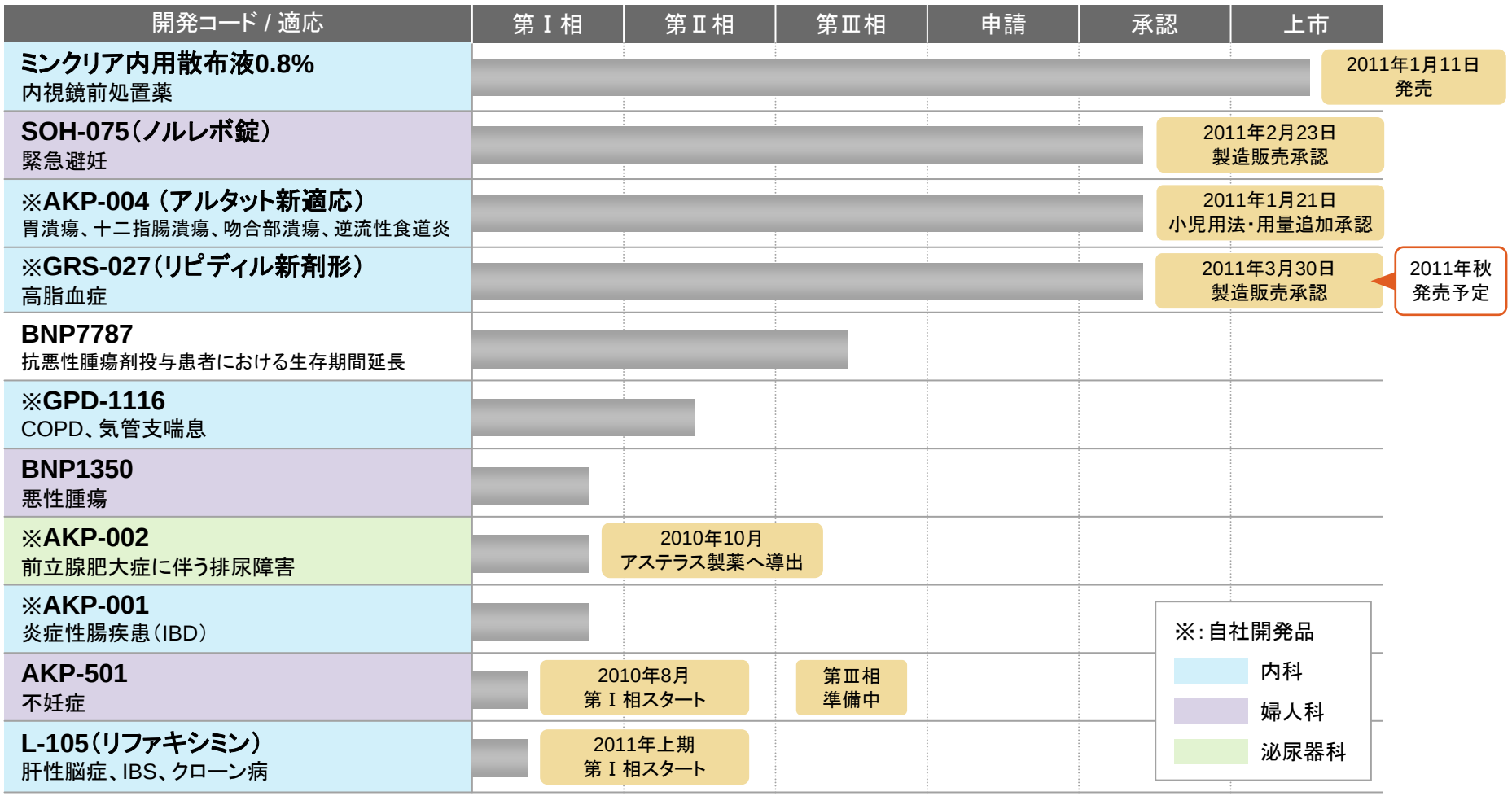
- 「適正使用」の推進
- 緊急避妊法適正使用セミナーの開催

  共催：（社）日本家族計画協会

ピーク時：20億円以上



研究開発の状況（2011年5月現在）



製造販売承認申請：　1. アルタット細粒20%　　2011年1月27日

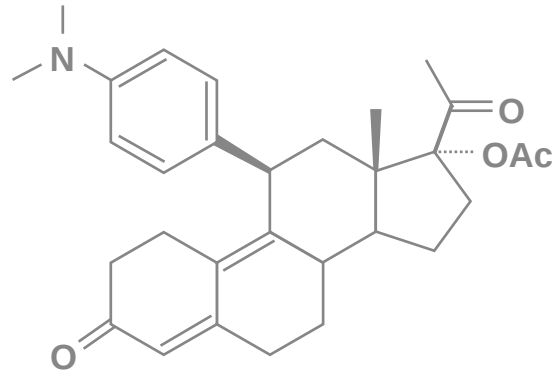
2. チラーヂンS錠（12.5μg，75μg）　2011年1月28日

2012年3月期トピックス

2011年5月
「ウリプリスタール酢酸エステル（Ulipristal Acetate）」に関する
ライセンス契約締結

- 日本におけるサブライセンス権付き独占的開発、販売及び製造権を取得

成分/開発コード	Ulipristal acetate / CDB-2914
導入元	HRA Pharma
作用機序	選択的プロゲステロン受容体モジュレーター
適応症	子宮筋腫（Phase3/EU・US，市場規模：約100億円），良性疾患 緊急避妊ピル “Ella One”（承認/EU・US，市場規模：約20億円） 米/英/独/仏/伊，北欧，東欧，ロシアで販売



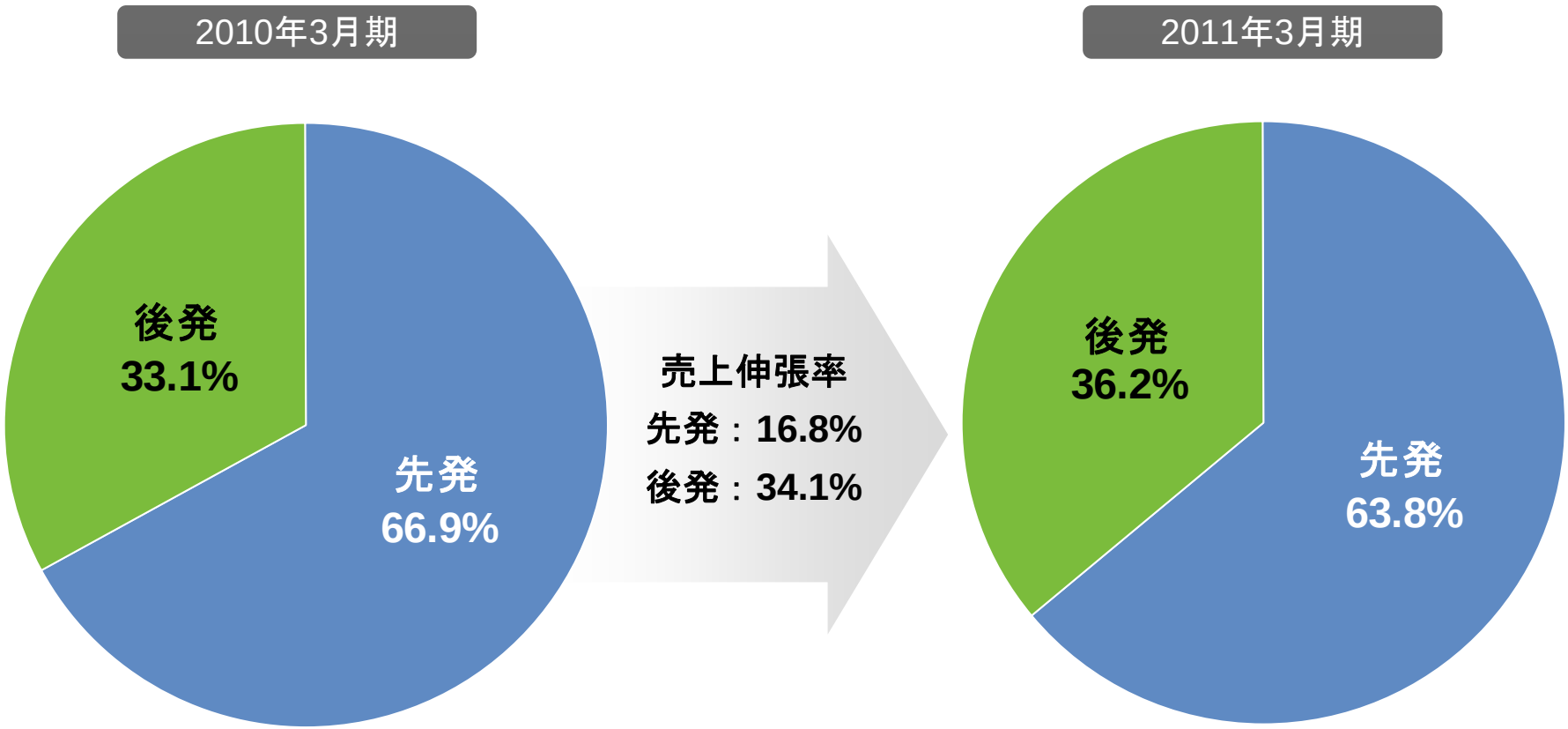
後発医薬品への取組み

■ 特許切れ品の発売と他社からの仕入による製品の拡充をすすめ、
あすか製薬とあすかActavis製薬で協同し、販売活動を実施していく

2010年　7成分11品目発売、7成分16品目を仕入

2011年　4成分11品目発売、製品拡充予定

医療用医薬品の構成比･売上伸張率



2011年3月期　連結決算概要

あすか製薬株式会社
常務取締役　大竹 充

損益計算書(連結)

(金額単位:百万円)	2010年3月期	2011年3月期	増減額	増減率
売上高	35,784	45,849	10,064	28.1%
売上原価	16,646	24,564	7,918	47.6%
売上総利益	19,141	21,283	2,141	11.2%
販売費及び一般管理費	18,722	17,787	△935	△5.0%
営業利益	419	3,496	3,076	732.8 %
経常利益	654	3,661	3,007	459.3 %
特別損失	212	4,665	4,452	― %
当期純利益	93	△790	△883	― %

事業別売上高(連結)

(金額単位:百万円)	2010年3月期	2011年3月期	構成比	増減額	増減率
医療用医薬品	34,197	42,333	92.3%	8,135	23.8%
動物用医薬品	1,261	3,189	7.0%	1,928	152.9%
その他	326	326	0.7%	0	0.3%
合　計	35,784	45,849	100%	10,064	28.1%

〈増収要因〉

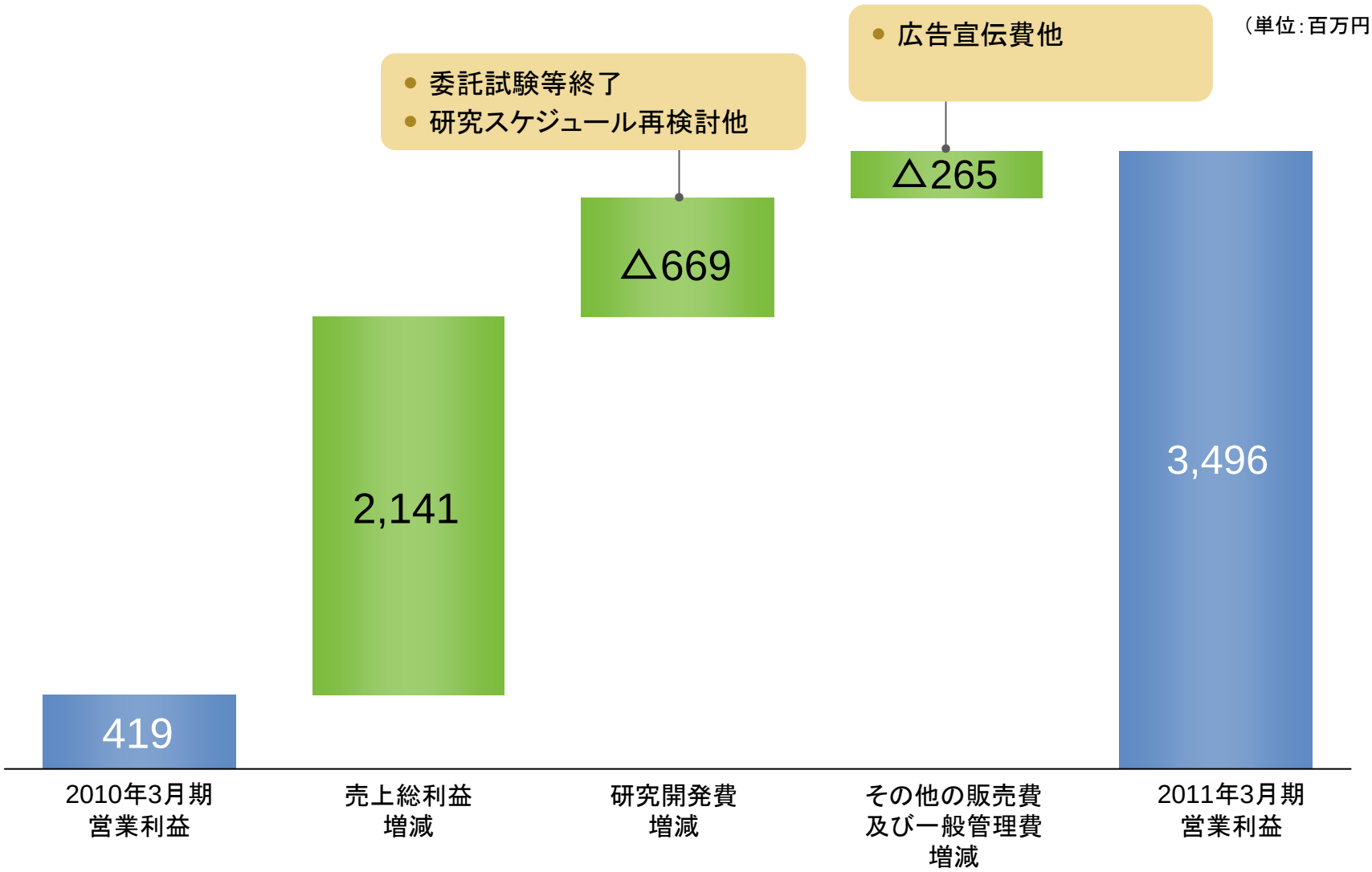
- 医療用医薬品　：承継品・販売権取得品増　3,657、新発売品・後発医療用医薬品販売増　3,646
- 動物用医薬品　：畜水産分野国内販売事業取得　2,116

主要製品売上高

領域	製品	2010年3月期	2011年3月期		2012年3月期	
		実績(百万円)	実績(百万円)	前同比(%)	計画(億円)	前年比(%)
内科	セルタッチ	4,309	7,774	180.4	72	92.8
	チラーヂン	3,795	3,985	105.0	39	98.1
	アルタット	2,582	2,261	87.6	20	88.9
	リピディル	3,996	4,190	104.8	42	100.3
	※ アムロジピン「あすか」	1,050	1,864	177.4	16	89.4
	※ ラミアン	718	804	112.0	6	83.5
	※ レバミピド	65	134	205.3	1	98.9
	※ メサラジン「AKP」	31	33	108.2	0	143.2
産婦人科	アンジュ	1,114	1,359	121.9	13	97.3
	メノエイド	143	396	276.4	3	95.8
	※ HMG	739	698	94.5	5	82.8
	※ ゴナピュール	326	375	115.0	2	67.9
泌尿器科	プロスタール	3,474	2,869	82.6	25	90.4
	※ ビカルタミド	1,433	2,050	143.3	20	98.0
	※ リストリーム	637	714	112.1	8	114.2
計		24,418	29,513	120.9	278	94.2
主要製品計・(主要製品/医療用医薬品)%		71.4%	71.2%		69.5%	

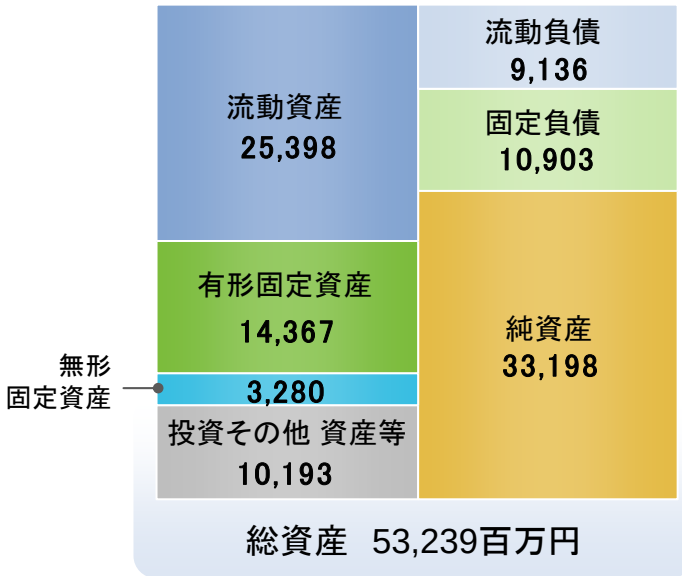
※:後発医療用医薬品

営業利益増減益分析

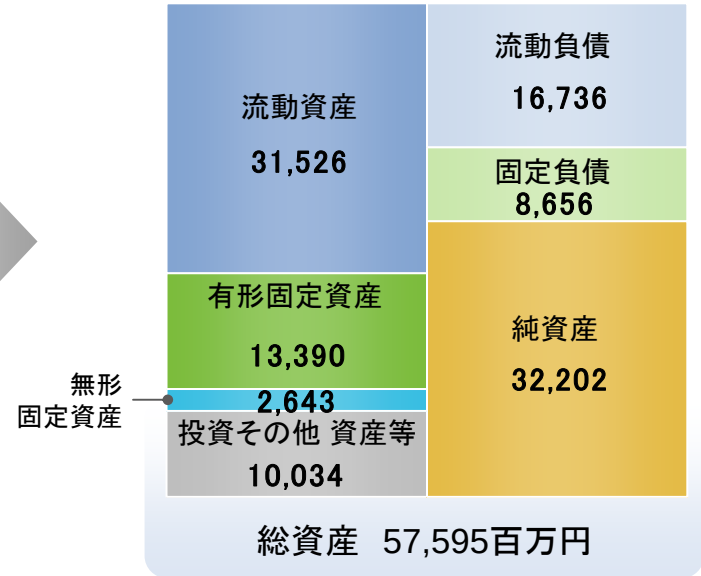

（単位：百万円）
広告宣伝費他
委託試験等終了
研究スケジュール再検討他
△265
△669
2,141
419
3,496
2010年3月期
営業利益
売上総利益
増減
研究開発費
増減
その他の販売費
及び一般管理費
増減
2011年3月期
営業利益

貸借対照表（連結）

2010年3月期末 （百万円）



2011年3月期末 （百万円）



	総資産	流動資産	有形固定資産	無形固定資産	投資その他資産等	流動負債	固定負債	純資産
増減額	4,356	6,128	△976	△636	△158	7,599	△2,247	△996

〈分析〉

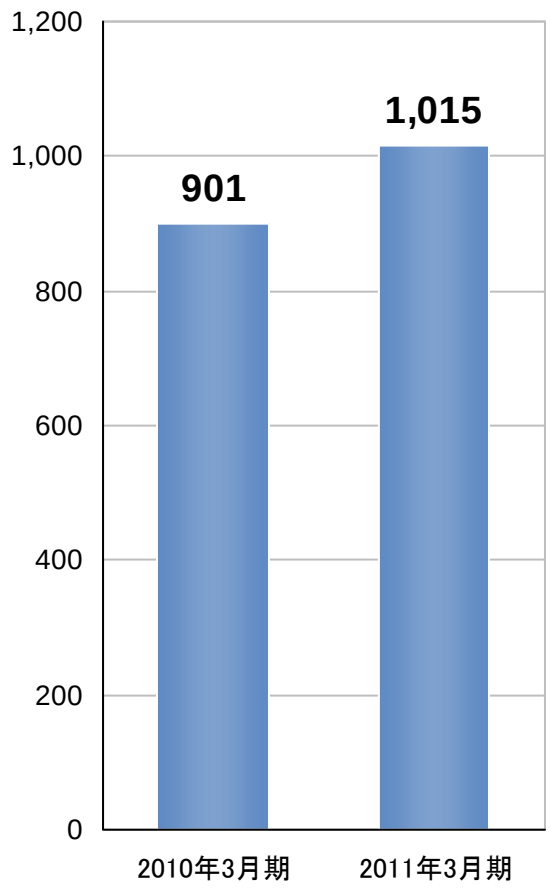
流動資産：現金及び預金・有価証券2,950、受取手形及び売掛金1,563　有形固定資産：新規取得1,015、減価償却費△1,924
無形固定資産：新規取得186、償却費△822　投資その他資産等：投資有価証券△278
流動負債：短期借入金3,660、支払手形及び買掛金2,051、災害損失引当金1,328　固定負債：長期借入金△1,590、退職給付引当金△431
純資産：その他の包括利益累計額256、利益剰余金△1,184

キャッシュ・フロー計算書（連結）

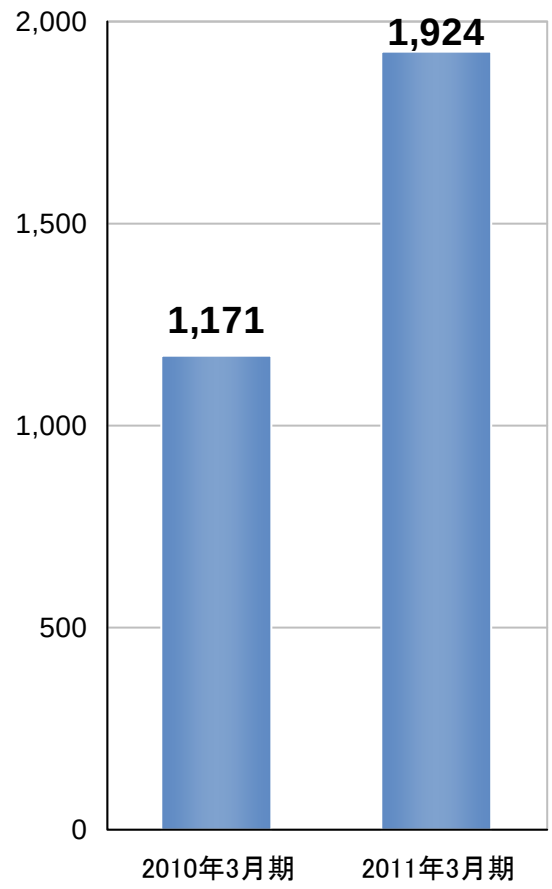
（金額単位：百万円）	2010年3月期	2011年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,665	3,558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,817	△3,575
財務活動によるキャッシュ・フロー	1.811	1,673
現金及び現金同等物の期末残高	9,434	11,090

設備投資等の概要

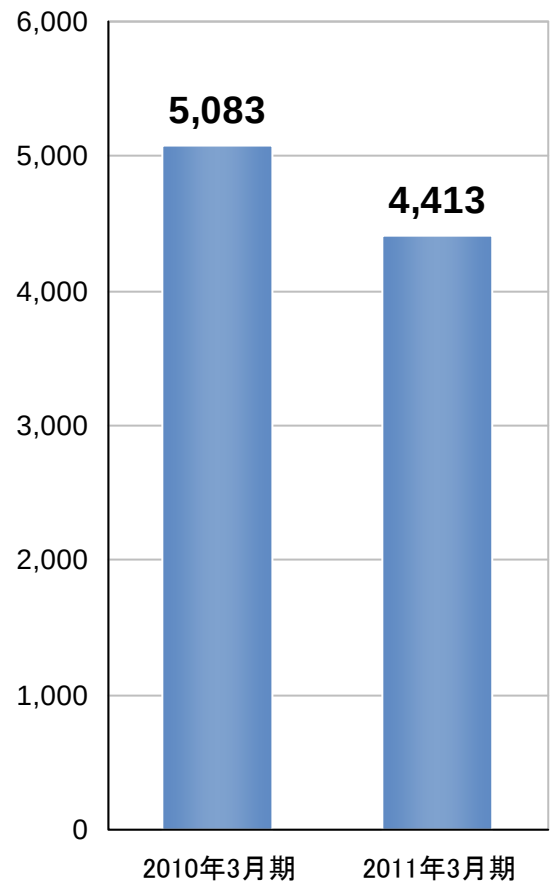
設備投資 （百万円）



減価償却費 （百万円）



研究開発費 （百万円）



2012年3月期計画（連結）

（金額単位：百万円）

	2011年3月期 実績	2012年3月期 計画	増減額	増減率
売上高	45,849	43,200	△2,649	△5.8%
売上原価	24,566	24,340	△226	△0.9%
売上総利益	21,283	18,860	△2,423	△11.4%
販売費及び一般管理費	17,787	18,120	333	1.9%
営業利益	3,496	740	△2,756	△78.8%
経常利益	3,661	1,000	△2,661	△72.7%
特別損失	4,665	―	―	―
当期純利益	△790	320	1,110	―

〈減収要因〉
医療用医薬品
2,670

〈売上原価率〉
2.8ポイント増加
（53.6% → 56.4%）

（販売費内訳）
人件費　△400
経　費　　733

株主還元について

配当方針

- 2011年3月期は、期末配当を7円とし、
  中間配当金7円と合わせ年間14円といたします。
- 2012年3月期は、安定配当として
  年間配当金14円を予定しております。
- また、今後の配当につきましては、安定配当を基本とし、
  業績、財務状況および今後の事業展開等を勘案いたしまして、
  成果の配分を高める様努めてまいります。

- この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、
- 既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております
- したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います
- 医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません

お問い合わせ先

広報部

Tel　：03－5484－8366
e-mail：chiba-k@aska-pharma.co.jp
担当　：千葉　公

あすか製薬株式会社